



# 防災マップ 帯広市防災マップ

ハザードマップとは、自然災害が発生した場合に予測される被災想定地域や被害の範囲、避難場所などを地図上に表示したものです。マップは水害の外水(洪水)と内水、土砂災害の3種類を掲載しています。いざという時に備えて、日頃から確認しておいてください。

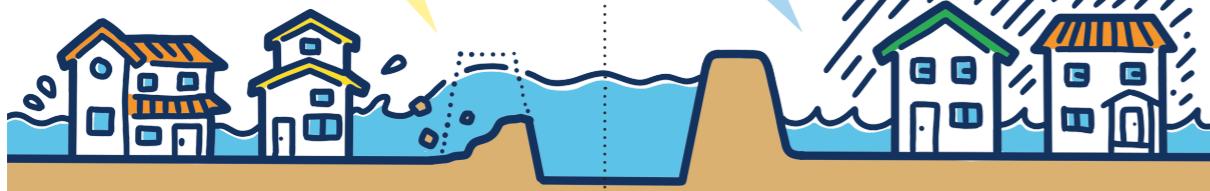
## マップの種類(A、B、Cの3種類のマップを掲載しています)

### A① 外水(洪水)ハザードマップ (洪水)(地震)(火事) ▶ P60～P85

河川の水位が上昇し、堤防を越えたり破堤などにより堤防から水が溢れることで発生する「外水氾濫」の浸水区域や浸水深を示したマップです。

#### 外水氾濫

大雨などによって河川の水量が増えることにより、堤防が決壊したり、堤防を越えて水が溢れだす現象。



家屋の倒壊や流出など、大規模な被害が発生することがあります。



浸水被害の発生頻度が高く、河川から離れた地域でも発生する可能性があります。

外水ハザードマップは、河川管理者(国、北海道)が作成した浸水想定区域図をもとに作成しています。浸水想定区域図での降雨量の想定は「想定最大規模」(1,000年に1度の想定し得る最大規模の降雨)ですが、想定最大規模の降雨以外でも外水氾濫が発生する可能性があります。

### A② 外水:河川別洪水浸水想定区域図 ▶ P86～P113

帯広市内を流れる河川毎の洪水浸水想定区域を示したマップです。

### A③ 外水:早期立退き避難が必要な区域

▶ P114～P121

家屋が倒壊してしまうような氾濫流や河岸浸食などが発生するおそれがある区域は、生命・身体に危険を及ぼす可能性があるため、早期の立退き避難が必要です。その区域を示したマップです。

早期の立退き避難が必要な区域	区域の種類		発生する現象
	氾濫流	河岸侵食	
家屋倒壊等氾濫想定区域			洪水で堤防が破堤(決壊)することで、河川から流れ込む水の力により、家屋などが流出・倒壊するおそれがある区域です。
家屋が水没するおそれがある区域			洪水時の河川の激しい流れにより、河岸が浸食されことで土地が流出し、家屋が流出、倒壊するおそれがある区域です。
浸水時間が長く続くおそれがある区域			最上階も浸水するおそれがある区域です。
			深さ50cm以上の浸水が3日以上続くおそれがある区域です。

### C 土砂災害ハザードマップ

▶ P138～P147

集中豪雨や台風などにより、土砂災害が発生した場合に被害が及ぶおそれのある区域を示したマップです。土砂災害警戒区域は、地図から危険度を判定した「土砂災害危険箇所(土石流危険渓流、急傾斜地崩落危険箇所など)」について、地質などの現地調査を行った上で指定されています。

#### ●土砂災害警戒区域(イエローゾーン ■)のみ

指定区域名	所在地	自然現象の種類	掲載頁
1 川西発電所の沢川	八千代町西1線、西2線	土石流	P142
2 西岩戸の沢川	岩内町西1線、第1基線	土石流	P144
3 第一岩内橋の沢川	岩内町2線	土石流	P146

#### ●土砂災害警戒区域(イエローゾーン ■)及び土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン ■)

指定区域名	所在地	自然現象の種類	掲載頁
1 帯広拓成	拓成町	急傾斜地の崩落	P143
2 帯広岩内1	岩内町西1線	急傾斜地の崩落	P147
3 帯広岩内2	岩内町西1線	急傾斜地の崩落	P147
4 帯広川西	川西町西1線、西2線	急傾斜地の崩落	P141
5 帯広西岩戸	岩内町西1線、第1基線	急傾斜地の崩落	P145